

橘の社会福祉「第38号」

発行所 橘地区社会福祉協議会(事務局)
川崎市高津区溝口1-6-10
てくのかわさき 3F
福祉パルかつ内
TEL 812-5500
発行人 森 昭司
編集人 機関紙編集委員会
委員長 佐藤 嘉彦

橘の社会福祉



(社会福祉協議会の会章)

つながりのある地域を目指して

橘地区社会福祉協議会 会長 森 昭司



私たちは、橘地区社会福祉協議会
は、身近な地域社会に、地域福祉
の向上を願いながら、活動を進め
ております。地区の皆様には、社
協の諸活動にご理解と温かいご協
力、ご支援を賜り、心から感謝申
し上げます。

私たちが取り組んでおります、
諸活動や事業も順調に推進する事
が出来ました。

ある会議の席の挨拶で、神奈川県
の人口は現在が一番多く、30年
先には、今から30年前の人口に減
少するとの予測がされています。
少子高齢化が進んでいる橘地区社
協のみならず、「高齢者福祉、子育
て支援」の活動を滞ることなく進
めていかなくてはならないと思っ
ております。

健康寿命の延長、区社協の推奨

地域から見えてくる安心・安全なまち

橘地区社会福祉協議会 副会長 小宮 秀樹

災害による被害を少しでも軽減
する為には、一人ひとりの日頃か
らの心がけと地域ぐるみの防災対
策が大変重要でです。自主防災組織
は、地域に住む皆さんがお互いに
協力し合い、その地域の安全を守
る為、町内会・自治会などが基本
となつて組織された団体です。消
火訓練や応急救護は、一人では思
うように練習できません。地域で
行われる防災訓練は、絶好の機会
です。家族や近所の人などと、積
極的に参加しましょう。

大きな地震により、火災や建物
倒壊が生じ消火や救助、手当を必
要とする人が多数発生します。そ
んな時、消防や警察、防災関係者
が来るまでの間、一刻を争う消火
救助、応急手当は、出来る人たち
ができる範囲で行わなくてはなり

する、健康運動「おたっしや10(て
ん)のトライ」も地域に浸透しつづ
てあります。災害もいつこの地域に
くるかもしれません。外出の機会
を多くし、健康になる心構えを持
つていただきたく思っております。

振り返ってみますと、昨年10月
に大きな台風が立て続けに日本列
島に上陸し、地域によっては大き
な被害が発生しました。

幸いにも、橘地区では、大きな
被害の発生もなく、生活への支障
がなかったことは、日常の防災意
識の向上につながっているとと思
います。

この機関紙の裏面には、地区社
協の活動が載っております。一つ、
二つと参加していただければと
思っております。

最近の社会の状況をみますと、
社会環境が複雑化する中で、私た
ちの活動が滞ることなく、地域の
暮らしに貢献でき、きめ細かい福祉
活動の向上につながってほしいと
思っております。

これからも、橘地区社会福祉協
議会へのさらなるご支援、ご協力
をお願い致します。

いこいの家 世代間交流について

子母口子ども文化センター
館長 榊原 誠

いこいの家と子ども文化センターの連携は
市内の全施設で取組んでいます。始まりは
平成27年度に川崎市がモデル事業として子母
口こ文・いこいの家と藤崎こ文・いこいの家の
合築二施設が指定を受けたことによるもので
す。連携が進められる地域と高い評価を受け
てのモデル館指定と考え、フロントランナーと
して区社協とこ文の担当者で手探りの取組み
を進めました。

初年度は出来る事から連携を進めようとし
合いました。お祭りや合同の避難訓練などを実施
しました。季節の行事を中心に今後の連携を
進めようとする方向性も確認しま
した。

子母口子ども文化センターでは、高津区役
所地域見守り支援センターと連携した1day
yカフェの取組みを進めていて、「豆アート」
「バスターアート」「冬の野菜」「まちの昔とぼた
餅作り」などの行事を行っていました。いこ
いの家の大広間や厨房を利用するものもあり、
橘地区の民生委員が地域ボランティアとして
参加しています。いずれも幼児親子・小学生
から高齢者の多世代交流の取組みでしたので、
自然と高津区役所・いこいの家(区社協)・こ
ども文化センターの合同事業へと構築が進み

赤ちゃん 訪問員について

訪問員 雁野 久美子

赤ちゃん訪問員第一回目の研修を受け、
当初から訪問員として赤ちゃんが生まれた家
庭の玄関先に「おめでとう」を言っています。お元
氣ですか」と訪問する様になり早8年になり
ます。訪問すると、心待ちにしているお母さ
んや、不安顔のお母さんなど様々です。

訪問員の登録証を見せ笑顔で気さくな言葉
をかけるのが会話に入ります。気持ちも打ち
解け安心して話が弾んでいきます。

最近ではマンションが立ち並び地域の環境も
変わり、他県から越してきたばかりの人、知
人が近くにいない人などが多くなっていま
す。

短時間の訪問ですが、一緒に赤ちゃんの誕
生を喜んでくれる人がいることを喜ぶお母さ
んの安心した気持ちが伝わってきてうれし
いです。最近では、近所付き合いが希薄になっ
ていますが赤ちゃんを通して、つながりを大

ました。29年度の計画を立てるのにあたり、
区役所・いこいの家・こ文・地域(ボランティア)
担当者が連携会議を開催して進めました。内
容運営などについて年間5回の連携会議を行
う他に、毎回の行事終了後に1時間ほどの振
り返りミーティングを行い協力体制が深化し
ています。この四者連携は子母口の特徴になっ
ていきます。

29年度は、昨年に引き続き、4月に節句飾
り作り、7月に七夕飾りを作ろうと1day
yカフェ豆アート、9月に月見飾りと団子作り、
10月にハロウィン飾り作りカボチャカフェ、12
月に1dayyカフェバスターアート、1月に1d
ay冬の野菜、2月にお雛様飾り作り、3月
に1dayyカフェ橘樹郡街の話とぼた餅作りを
行いました。連携が進む中で大根プロジェクト
として10・12月の継続取り組みが実現し、種
まき・間引き・収穫体験を行い、冬の野菜に
つなげました。

参加した皆さんからは、「今後も参加したい」
「小さい子と触れ
合えてよかった」
「楽しかった」な
どの感想をいた
だきました。担
当者が変わって
もこの地域の特
色ある取り組み
と「参画・協働・
共汗・共創」の
精神が継続して
いくことを願っ
ていきます。



「小さい子と触れ合えてよかった」「楽しかった」などの感想をいただきました。担当者が変わってもこの地域の特色ある取り組みと「参画・協働・共汗・共創」の精神が継続していくことを願っています。

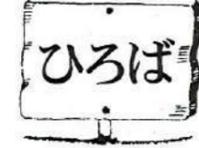
切にしていかなければと思います。
地域の情報や心配な事があれば、何かの形
で力になれたらと思います。私は保健福祉セ
ンターでの乳幼児健診にボランティアとして
長年携わっていますが、検診の時成長した姿
に再会する事もあり、一緒に成長ぶりを喜び
合っています。



訪問員としての訪問員は、現在の子育て情報に訪問員も目や耳を傾けて学習していく努力が必要だと思っております。これからもお母さんたちをやさしく見守り応援していきたいと思っております。

子母口南町内会の紹介

子母口南町内会 会長 三堀 忠



子母口南町内会は尻手黒川道
路と矢上川の間、橘公園、タチ
バナボール、子母口小学校、東
橘中学校、県営プラザハイム、
子母口老人いこいの家、子母口
子ども文化センターなどがある
750世帯の町内会です。町
内会活動のひとつとして小中
学校の児童の登下校時の、月々
金曜日に354人で見守りパト
ロール活動を13年前から継続
しています。小学校の一年生の生
徒に毎年昔の遊びのけん玉、コ
マ、あやとり、おはじき、お手
玉、メンコなどのコーナーを設
け、子供さんたちに色々な遊び
を体験してもらい皆に楽しんで
もらっています。

ゴミ問題はどの町内会も困っ
ていると思います。南町内会は
13年前から1年に355個ずつ
ふた付きのゴミ箱を設置して、
現在70個までになり、町内会の
皆さんにガラスや猫など荒ら
されずきれいな状態にしようと
いただいています。美化活動と
しては旭田公園横に町内会の花
壇があり、美化部の人と役員な
どで季節の草花の植替えなどを
して皆さんに楽しんでいただい
ています。旭田公園清掃活動とし
て、年4回老人会の人たちにも
協力していただき、草取りや公
園体操も週1回行っています。
福祉活動としては民生委員児童
委員の皆さんによる一人暮らし
の方のミニデイやふれあい会食
会、子育て支援活動も充実した、
支え合う地域づくりをして頂い
ています。

毎年2月に行っている子母口
いこいの家祭りではカラオケ、
踊りなどにも参加して多くの皆
さんに喜んでもらっています。

# 地域の中の学校

川崎市立橘小学校  
教頭 紀 裕子

年間を通して橘地区の皆様には、大変お世話になっております。本当にありがとうございます。

橘小学校は平成28・29年度「生活科・総合的な学習の時間」の研究推進校でした。一年生は昔遊び、三年生は七輪体験、六年生は竹細工作り……。子ども達の多様なニーズに応じて、社協・町会・市民健康の森を育てる会などの方にゲストティーチャーをお願いしました。お忙しい中、皆さん快く引き受けて下さり、子ども達の深い学びにつながりました。何度も学校に足をお運びいただき、子ども達とすっかり顔なじみになったお年寄りもいらっしゃいます。

1月12日には、本校校庭でどんど焼きが行われ、全校児童で参加させて頂きました。正月のお飾りを手に、地域の方もたくさん集まりました。クラス代表が書初めを納めた後に点火され、立ち昇る炎を見ながら学業成就や無病息災を皆で願いました。残り火でもち焼き時には、お年寄りに焼き方を教わる子や、地域の方に学習発表会の招待状を渡す子

## 平成29年度 橘地区社協の一年

### ▶お年寄への取組



- ふれあい会食会（ひとり暮らし高齢者対象）の実施（各地区年6回）
- 介護講習会の開催
- ミニデイケアの実施（月1回）（子母口・末長いこの家）
- 介護教室の実施（子母口いこの家）
- デイセントー事業の実施（月2回）（千年湯）※7月末で終了
- 敬老祝金贈呈事業の実施

### ▶子育て支援の取組

- 親子のつどいの開催（年2回）
- 子母口いこの家での世代間交流事業への協力

### ▶青少年健全育成活動

- 「社会を明るくする運動」への協力
- 「橘の散歩道ウォークラリー」の開催
- 「中学生と福祉を語る会」の開催（橘中学校）

### ▶福祉を広げる取組

- 機関誌「橘の社会福祉」の発行
- 橘ふるさと祭り（福祉バザー・ふれあいコーナー）
- 「ふれあいさんま祭り」への協力
- 落語カフェ、音楽カフェへの協力

### ▶ほかに…

- 末長・子母口老人いこの家の運営管理
- 赤い羽根共同募金・年末たすけあい運動への協力
- 高津区社協賛助会員増強運動の推進
- 会員研修



などほほえましい姿も見られました。当日、朝早くから準備して下さった方の中には、橘の卒業生がたくさんいらっしゃいます。毎年行われる防災訓練でも感じますが、橘には町を愛し皆のために力を合わせよう、という風土があります。次世代を担う子ども達にもこの良い伝統を引き継いでいってほしいと思います。学校でも折々に話をしていきたいと思

## 落語カフェ・音楽カフェについて

高津老人福祉・地域交流センター  
所長 西堀富士典

当センターでは、橘地区社協とともに、地域の高齢者の居場所づくりの一環として、平成28年度から年間5回（落語2回、音楽3回）落語カフェ・音楽カフェを開催しております。（参加者延べ270人）

落語カフェ・音楽カフェは、参加されるお年寄りに二百円のご負担をいただき、専門的な指導を受けたスタッフが淹れたおいしいコーヒーやお菓子による落語や音楽を楽しんでいただくものです。

落語カフェには、専修大学の落語研究会の学生さん方三人が落語を披露してくださり、会場は毎回笑いの渦に包まれます。

音楽カフェには、洗足学園音楽大学の学生さん方や橘中学校の生徒さん方が、演奏や歌声を披露してくださり、会場は毎回大きな拍手に包まれます。

また、高津保健所から保健師さんが毎回健康指導に来て下さり、参加者みんなで体を動か

当センターでは、橘地区社協とともに、地域の高齢者の居場所づくりの一環として、平成28年度から年間5回（落語2回、音楽3回）落語カフェ・音楽カフェを開催しております。（参加者延べ270人）



かします。

落語カフェ・音楽カフェは、始めてから2年が経ち、今では、日頃あまり接することのない、お年寄りや学生さんとの貴重な交流の機会として、毎回大変喜んでいただいております。

当センターといたしましては、これからも、民生委員及び地域のボランティアの方々とともに、この活動を続けていきたいと思

## 平成29年度 高津区社会福祉協議会 賛助会員増強運動

橘地区実施報告  
1,046 件の会員の皆様より  
**1,593,000円**

（前年度比 7,000円増）

ご協力いただきました賛助会費は、ひとり暮らしの高齢者を対象にした会食会、敬老祝事業の実施や青少年福祉事業などの社会福祉事業に使われています。また、本機関紙を含めた広報活動にも使われています。

ご協力ありがとうございました。



## 車いすの無料貸出

橘地区社協では、一時的に必要な方へお貸しします。



- 地区民生委員又は、次の方へご連絡ください。
- 貸与期間は1カ月以内です。

- |        |                   |
|--------|-------------------|
| (末長)   | 宮下 利江<br>866-2908 |
|        | 石見 宏明<br>866-3717 |
|        | 小黒 欣三<br>833-9222 |
| (新作)   | 福田 秀子<br>865-0261 |
|        | 平田 恭子<br>888-9472 |
|        | 石川 秀子<br>857-7147 |
| (千年)   | 柏木 重子<br>766-2087 |
|        | 森 政治<br>766-4131  |
|        | 山上まき子<br>788-4405 |
| (千年新町) | 興石久美子<br>777-0809 |
| (子母口)  | 中島 和夫<br>788-8141 |
|        | 吉野 豊<br>766-8006  |
| (久末)   | 森 佳子<br>777-0470  |
|        | 森 昭司<br>766-3693  |
|        | 田村 順子<br>777-8117 |
| (蟹ヶ谷)  | 田村 恒子<br>777-4062 |
|        | 伊藤あつ子<br>766-6895 |

## 橘ふるさと祭り「福祉バザー」にご協力ありがとうございました。

総売上 **627,710円**

橘地区社会福祉協議会の各事業の実施に活用させていただきます。

例：子育て支援、介護講習会、機関紙発行、等

高津南部米穀商組合様	10,000円
川崎小売酒販組合様	14,927円
千年新町自治会様	20,200円
内田 義一様	35,000円
ふれあいさんま祭実行委員会様	50,000円
合計	130,127円

## 寄託金の御礼

あたたかいご協力に感謝いたします。

おめでとうございます  
敬老お祝金を  
お渡ししました  
敬老祝事業は、橘地区社会福祉協議会と橘地区連合自治会が一緒になって実施しています。

該当する年齢の方々からの申し込みを受け（個人情報観点から）、民生委員児童委員を通じてお渡ししています。